

主題名 集団生活を充実させていくために大切なことは何か

(教材名「初めての伴奏」)

第1学年 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実

◆本実践の概要

- ・発問に対して、「なぜそう思うのか。」「何が大切なのか。」など生徒に聞き返し、一つ一つの発問を自分事としてじっくり考える機会を作る。また、「～さんの考えについてどう思う？」など、他人の意見についても考える機会を作ることで、多様な価値観を共有させていく。これらの活動を生徒一人一人の考えを深めるきっかけとする。
- ・作中における問題点を授業の導入で意識させる。展開では、様々な立場で登場人物の心情に迫らせる。これらの活動から、最終的には自分事としてどのように解決していこうとするかを考えるきっかけとする。
- ・アンケート機能を用いて、互いの考えを円グラフで視覚的に共有することにより、話し合いの視点が明確になり、学習課題に対する意見整理を円滑に進めることが可能になる。

1 ねらい

合唱コンクールの練習をする生徒たちの物語を通して、クラスで何かを成し遂げるときに大切なことについて考えさせ、よりよい学校生活を自らつくっていかうとする実践意欲と態度を育てる。

2 教材について

本教材は、「姉に負けたくない」、「両親に褒められたい」という思いで合唱コンクールのピアノ伴奏者に立候補した理子が、クラスのみならず練習を進めていく中で、クラスの一員として自分の責任を自覚し、自分のためだけでなく、クラスのためにがんばろうという思いに変化していく様子を描いた読み物教材である。

理子の変化は、しだいにクラスみんなの心を動かし、クラス全体が協力し、励まし合う集団へと変わっていく。一人一人の心がけや働きかけが、クラスという集団そのものの向上につながっていくことに気付かせ、集団のために自分にできることは何なのかを意識させたい。

3 児童生徒の実態

本学級は男子13名、女子10名(うち1名は特別支援学級)の23名の学級である。1つの小学校からの持ち上がりということもあり、新たな場所でも、小学校の頃と変わらず日々の生活を送れているように感じる。新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、様々な活動に制限はあるが、目の前の活動に対して前向きに取り組む生徒が多い。また、学習面についても意欲的で、家庭学習は大部分の生徒が毎日行っている。

本内容項目に関連して、今年度本校では、Q-Uを活用した集団作りの研究を行っている。1学期に行ったQ-Uの結果からは、本学級は「クラスの行事に参加したり活動したりするのは楽しい」や「友人との付き合いは自分の成長にとって大切だと思う」について多くの生徒が肯定的な回答をしていることが分かる。集団活動の楽しさや必要性を実感できている生徒がいる一方で、「みんなのためになることを自分で見つけ実行している」や「周りの目が気になり不安や緊張を覚えることがある」の項目については、思うような行動ができていないという実態も伺える。本授業を通して、学級で何かを成し遂げるときに大切なことについて考えを深めさせ、自分たちの学級についても考えていくきっかけとしていきたい。

4 本時の実際

	学習活動と主な発問	予想される児童生徒の発言	指導上の留意点
導入	<p>1. 朝読書の時間でPI70～を読んでおく。</p> <p>・物語の最初で合唱コンクールの練習がうまくいかなかったのはなぜだと思いますか。</p> <p>補助) 理子のピアノがしっかりできていたからうまくいったと思いますか。</p>	<p>・理子がピアノをしっかり練習していなかった。</p> <p>・周りの人たちもしっかり練習していなかった。</p>	<p>・考える時間や意見交換の時間を多く取りたいので、朝読書の時間に指定したところまでしっかり確認させる。</p>
展開	<p>2. 物語の内容を深める。</p> <p>・このクラスが「最後に歌声が一つになった」のはどうしてだと思いますか。</p> <p>補助) 理子さんの頑張りがなければ周りは頑張らなかったってことですか。</p> <p>補助) みんなの意識がどのように変わりましたか。</p> <p>○このクラスは合唱コンクールでいい結果につながったと思いますか。 (はい or いいえで答え、理由も書く。)</p> <p>◎自分のクラスをより良くしていくために大切にしていきたいことは何ですか。</p> <p>補助) なんでそう思っているのですか。</p> <p>補助) 思うようにいかなかったときはどうしますか。</p> <p>補助) 友達の意見を聞いてどう思いましたか。</p>	<p>・理子の頑張りにみんなが応えようと頑張ったから。</p> <p>・みんなの意識が変わったから。</p> <p>・間違えても「平気だよ」とか、「気にするなよ」って言ってくれる雰囲気が安心感につながって一つになれたから。</p> <p>・目標に向かって、みんなで切磋琢磨しながら活動をしていく。</p> <p>・みんなで様々な行事を協力して行っていく。</p> <p>・お互いに励まし合っていく。</p> <p>・自分の仕事には最後まで責任をもつ。</p>	<p>・クラス全体が、温かく協力し合える雰囲気になってきたことを感じ取らせる。</p> <p>・集団生活を充実させていくことについて考えを深めさせる。</p> <p>・Forms を使って、結果を円グラフで表示する。</p> <p>・理由も併せて考えさせる。</p>
終末	<p>3. 今日の授業の感想</p> <p>○今日の授業に自分でタイトルをつけ、学んだことや感じたこと、新たに気付いたことなどを書く。</p>		<p>・振り返りシートに記述するように促す。</p>

5 評価の視点

- ・登場人物の変容や、友達の意見を聞く中で、よりよい集団を形成したり集団で何かを成し遂げたりするために必要なことについて、様々な側面からとらえられているか。
- ・登場人物の姿と自分を重ね合わせたり、これまでの自分自身を振り返ったりすることで、協力し合って集団の向上を目指すことについて考えようとしているか。

6 実践を振り返って

学園祭直後ということもあり、教材も生徒たちにとって考えやすいものであったように感じた。一つの発問に対して、問い返しや切り返しを適宜行ったことで、生徒に自分事としてじっくり考える機会を作ることができた。また、意見共有の場面においても、教師がファシリテーターとして生徒間の意見を全体に共有することや、班同士の話し合いを行ったことで、生徒が多種多様な意見に触れることもできた。生徒の中には、よりよい集団について考えて行く中で、他者との話し合いを通して考えに変化のある生徒もいた。例えば、以下の記述である。

1. このクラスは合唱コンクールでいい結果に繋がったと思いますか。

思う

みんなでフォローしたりして協力合っていて、良いふいきが続いていくと思うから。

級友の意見

練習は頑張り、ていつと思うけれど、最初からは頑張り、ていつたわけでは無いのでコンクールでも良い結果は残せないうと思う。(協力はしていつたけれど最初からはしていつないから。)

3. 振り返り

今日のテーマ【

自分

】

最初からやる気を出さないのも、しっかりやらないのも良くないから人の事を支えてあげたり、協力していつたり、やる気を出して自分も努力していつことやあきらめないことは大切なことだと思つた。誰かに任せたり自分が責任感をもたないことは自分が後かいつることになり、みんなの足を引っぱつてしまつたり、良い結果につなげないから、しっかり自分で責任感をもつたりせ、きりにならないようにしたいと思つた。

授業の中盤までは、集団作りの中で1.の考えをもつていつたが、意見共有の場面で級友の意見を取り入れて自分なりの納得解を導くことができた。

多様な考えに触れることが道徳性を深める意味で大切であると実感できた。

自分事として課題を捉える工夫としては、導入の場面で『物語の最初で合唱コンクールの練習がうまくいかなかったのはなぜだと思つますか。』という発問をし、板書でも強調しておくことで、生徒に問題意識をもたせた上で授業を展開していつことができた。このことにより、生徒一人一人が、自分なりの納得解を得ようと主体的に学習に取り組むことができていつように感じた。一方で、問題意識の定着を意識し過ぎたため導入に掛かる時間が予定よりも長くなり、その後の意見共有の時間が少し短くなつてしまつた。

1人1台端末の活用においては、Forms(office365)のアンケート機能を活用した。1.の発問について結果を円グラフで提示したことで、生徒の興味・関心を高めるきっかけとなり、その後の話し合いを深めることにつながつた。1人1台端末の活用については、生徒の操作に個人差が生じてしまう心配があるが、今回の活用については、選択問題一つのみなので個人差はあまり生じなかつた。

